

令和7年度 宝石美術専門学校自己評価結果

1. 評価方法

○評価の実施に当たっては、文部科学省が定めた「専修学校における学校評価ガイドライン」を参照して本校の評価項目を設定した。

○各評価項目について、次の評価基準により教職員が実施した。

・適切：4 ・ほぼ適切：3 ・やや不適切：2 ・不適切：1

○評価結果は、各教職員の自己評価結果の平均値とした。

・適切：3.5以上 ・ほぼ適切：2.5～3.4 ・やや不適切：1.5～2.4 ・不適切：1.5未満

○アンケート結果等も踏まえ、内部評価を行い以下のとおり結果を取りまとめた。

2. 評価項目の状況

(1) 教育理念等

評価項目	結果
① 教育理念、教育目標、教育方針が学生、保護者、関係業界等に周知されている	3.3
② 育成する人材像は社会情勢や業界のニーズを踏まえている	3.3
③ 本校の教育理念等は教職員に共有、徹底されている	3.5
④ 学則・諸規程等は十分に整備されている	3.9

【評価内容】

- ① 教育理念、教育目標、教育方針は定められており、学生便覧、ホームページ等で公開するとともに、オープンキャンパスやリモート説明会、ガイダンス、学校運営連絡会議等の機会を通じて周知を図っている。本年度は更に3つのポリシーを策定し、学生が身につけるべき資質や教育課程の編成・実施の方針、入学者に求める学力などを明確化した。
- ② 開校以来、より充実した教育内容を目指すとともに、社会の変化や将来の方向を考慮した学校改革を行い、「専門知識・技術の高度化」などを目指し取り組んでいるが、加速する少子化、これに伴う入学定員の確保などを踏まえ、引き続き本校に求められている社会経済のニーズ等をしっかり把握し、反映していきたい。
- ③ 4月に非常勤講師説明会を開催し、本校の教育理念等を周知しており、教職員に共有、徹底されている。
- ④ 学則等の必要な規程は整備されており、改正が必要な場合にはその都度行うこととしている。

(2) 学校運営

重点項目2、3

評価項目	結果
① 教育活動等に関する情報公開が適切になされている	3.9
② 安全管理、防災など危機管理に対する体制が整備されている	3.6
③ 学校ホームページは分かりやすい内容になっている	3.9
④ 地域社会や業界等に対するコンプライアンス体制が整備されている	3.6
⑤ 教育理念等に沿った学校の取り組み方針は共有されている	3.4
⑥ 教職員間の情報共有、情報交換は十分に行われている	3.4
⑦ 組織的な意思決定がなされており、学校運営は有効に機能している	3.4
⑧ 校内の情報システムは利用しやすく充実している	3.3

【評価内容】

- ① 教育活動等に関する情報は、ホームページやInstagramでの発信等で積極的に公開している。また、宝美祭などの行事や技能五輪の結果などを報道機関に情報提供している。
- ② 危機管理マニュアル及び防災計画の整備、防災訓練の実施など、学生及び教員の危機管理意識や防災意識の高揚に努めている。また消防法に規定する必要な設備を整えており、定期点検も実施している。
更に、防犯カメラ3台設置、出入り口のオートロック化、警察官立ち寄り所の認定、防犯講座の開催などに加え、学校出入り口の入退室管理や学生がスマホ等での解錠ができるシステムを本年度新たに導入した。
- ③ ホームページについては、令和5年度にスマホ対応へ改善及び掲載内容の更新を行い、利用者が必要とする情報へ円滑にアクセスできる構成へと改善した。
- ④ 職場研修等を実施するなどして職員意識を醸成し、体制の整備を図っている。
- ⑤ 教育理念等に沿った学校の方針は①と同様に共有されている。また、本年度は更に3つのポリシーを策定し、学生が身につけるべき資質や教育課程の編成・実施の方針、入学者に求める学力などを明確化した。
- ⑥ 週1回行われる学科会議等で教職員間の情報共有、情報交換は十分に行われている。
- ⑦ 週1回行われる学科会議において、また特に重要な案件については校長を含めた職員会議において、組織的な意思決定がなされており、学校運営は有効に機能している。
- ⑧ 本年度、情報システムを更新し、更に業務の効率化が図られている。

(3) 教育活動

重点項目3

	評 価 項 目	結果
①	教育理念等に沿ったカリキュラムの編成、実施方針等が明確になっている	3.5
②	教育到達レベルのための学習時間は十分確保されている	3.8
③	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立った教育内容の工夫、開発が実施されている	3.5
④	企業実習（インターンシップ）は業界と連携して実施している	3.6
⑤	教員はシラバスに基づき授業を実施している	4.0
⑥	教育目標の実現のため十分に要件を備えた教員を確保している	3.8
⑦	職人を非常勤講師とするなどジュエリー産地山梨の特質を生かした教育を実施している	4.0
⑧	附属施設山梨ジュエリーミュージアムは本県ジュエリー産地の発信拠点となっている	3.9
⑨	成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確である	3.5
⑩	市場や業界の状況を勘案し、カリキュラムの作成、見直しを実施している	3.6
⑪	教員の更なる能力開発のための研修等を実施している	3.1

【評価内容】

- ① 教育理念等に沿ったカリキュラムを策定し、必要な学習時間を確保するとともに、シラバスに目標、内容を明示している。
- ② カリキュラム編成時に、教育到達レベル確保のための学習時間を設定している。
- ③ 学生が就職を希望する職種（業務）に向けて、高度な技能の習得が可能となるよう選択科目を設置、高度な技術を有する外部講師を招聘し指導を充実させている。
- ④ 企業研究の一環としてインターンシップを業界と連携して実施している。
今年度は受け入れ企業を増やすことができた。
- ⑤ 教員はシラバスに基づき授業を実施している。
- ⑥ 教育目標の実現のため十分な要件を備えた教員を確保している。
- ⑦ 高度な技術を有する職人を非常勤講師として招聘し、産地の特質を生かした指導を充実させている。
- ⑧ 本年度、「山梨ジュエリーと水晶工芸」「ジュエリーを楽しむ8海の不思議」「館藏品コレクション展」などのミュージアム主催の企画展に加え、水晶美術彫刻協同組合主催の「伝統をつむぐ作品展」などを開催し、前年度より25%増の来館者数となっている。
- ⑨ 基準は規程等に定めており、それに基づいて職員会議で判定を行っている。
- ⑩ 市場や業界の状況を勘案し、毎年度カリキュラムの作成、見直しを実施している。

- ⑪ 自己研鑽だけでなく職層別研修やWeb研修など多様な研修等の機会を設け、能力向上に努めている。また、本年度から授業アンケートや研究授業を実施し、授業改善に繋げることにより教育の質の向上に努めている。

(4) 学修成果

	評 価 項 目	結果
①	宝飾業界への就職率の向上が図られている	3.4
②	技能検定、ジュエリーコーディネーター試験等の受験率、合格率の向上が図られている	3.6
③	休学、留年に該当する学生の低減が図られている	3.0
④	退学者の低減が図られている	2.9
⑤	卒業後の就業状況を把握し、学校の教育活動の改善に活用している	3.3

【評価内容】

- ① 学生に業界への就職を働き掛けるとともに、学校において企業説明会の開催、ジュエリー協会青年部との交流会などを実施し、関係業界への就職率の向上に務めている。
- ② 検定、試験等の合格率の向上のため担当教員が連携して組織的な指導体制を組んでおり、毎年一定の合格者を出しているが、今後も合格率向上に努めていきたい。特に技能五輪全国大会では、本年度金賞を受賞するなど成果が現れた。
- ③ 休学者等は、体調不良や成績不振、また退学者は体調不良や進路変更などが理由であり、低減策を講じることは難しいが、支援が必要な学生については、教職員間で情報共有を図り、きめ細やかに対応をすることにより未然防止に努めている。
- ④ 令和5年度にジュエリー協会にも御協力頂き、卒業生の在籍調査を行った。今後は一定期間毎に卒業生へのアンケートを実施する予定である。

(5) 学生指導等

	評 価 項 目	結果
①	教員は、学生に対して公平、平等に対応している	3.4
②	学修に関する支援は十分実施している	3.8
③	就職に関する支援は十分に行われている 重点項目1	3.8
④	学生の相談には十分に対応している	3.9
⑤	学生に対する経済的な支援は十分に対応している	3.9
⑥	学生の健康管理には十分に対応している	3.8
⑦	学生への情報提供は十分に行われている	3.6
⑧	課外活動に対する支援は十分に行われている	3.6
⑨	卒業生への支援は十分に行われている	3.4
⑩	必要に応じて保護者と適切に連携している	3.8
⑪	学生には積極的に声をかけるなど、日常的に状況把握に努めている	4.0

【評価内容】

- ① 学生に対して公平、平等に対応している。
- ② 各担当だけでなく教員間で情報共有し、学修に関する支援を実施している。
- ③ 学生への情報提供、個別相談等に加え、企業研究を通し就職活動を支援している。
- ④ 各担任だけでなく教員間で情報共有し、相談に適切に対応できるよう努めている。
- ⑤ 本年度から日本学生支援機構の奨学金の対象が多子世帯に拡大されたことから、その周知を図るとともに、授業料減免の規定により遺漏ないように対応している。
- ⑥ 保健室の設置、年度当初の健康診断、学校医との連携に加え、カウンセラーを配置し、相談に対応するなど適切に対応している。
- ⑦ 紙媒体や学内への掲示のほか、随時一斉メール等により情報提供している。

- ⑧ 自治会活動やクラブ活動において担当教員を選定し、適切に支援している。
- ⑨ 希望する卒業生について、求人情報を閲覧させるとともに、必要に応じて相談に応ずるなど支援をしている。
- ⑩ 必要に応じて保護者と連絡を取り、本人にとってより良い方へ向かうよう努めている。
- ⑪ 学生とコミュニケーションを取りながら状況把握に努め、支援が必要な学生については教員間で情報共有を図り、きめ細かな支援に繋げている。

(6) 教育環境

	評 価 項 目	結果
①	施設、設備は教育上十分対応できるよう整備されている	3.3
②	学内の実習環境は十分整備されている	3.1
③	図書室（書庫）は学生が活用するために十分整備されている	3.5
④	学生が自主的に学修するための環境が整備されている	3.6

【評価内容】

- ① 設備は計画的に更新をできるよう、予算要求を行い教育上の必要性に応えることとしている。本年度は、情報システムやAV機器の更新、ワックス加工室の加工機・備品等の整備、圧延機や線引き機等の更新を行った。
- ② 実習環境は現在のカリキュラムに対応できるよう整備されており、①のとおり計画的に設備の更新を行っている。また、本年度は共有工具等の整備、整頓を行い学生が利用しやすい環境整備に努めている。
- ③ 図書室書籍の整理を進め、学生の利便性向上に貢献している。
- ④ 教室は申請により授業外に開放しているほか、交流スペースではインターネット接続が可能な環境が整備されているなど、自主的な学修をサポートしている。

(7) 学生募集

重点項目1、4

	評 価 項 目	結果
①	学生募集の周知は十分に行われている	4.0
②	高校等に対する情報提供の取り組みが行われている	4.0
③	県外の高校等に対しても積極的に学生募集活動が実施されている	4.0
④	学校案内は必要な情報が十分に掲載されている	4.0
⑤	学生募集活動は十分実施されている	4.0
⑥	学生募集活動において、資格取得、就職状況等の情報が正確に伝えられている	4.0
⑦	オープンスクールの実施は十分に行われている	4.0

【評価内容】

- ① ホームページ、インスタグラム、学校案内、募集要項などにより広く情報提供するとともに、オープンキャンパスや学校訪問などにより周知を行っている。
- ② 担当職員（高校教員OB）が学校訪問を実施し、本校の実績等の情報を提供するほか、各学校の合同説明会に参加するなど、情報の提供を行っている。
- ③ 全国のデザイン系、美術系、総合学科の高校（約700校）への学校案内や募集要項等を送付しているほか、長野県・静岡県の高校へは随時イベント等の情報提供に加え、本年度は、東京都立の美術・デザイン系学科を持つ高校を訪問し、募集活動を行った。
- ④ 学習の流れから講師陣、施設設備、ライフスタイルなど、学生が必要とする情報を毎年工夫しながら掲載している。
- ⑤ ①～④の情報提供を行い、実技体験を含むオープンキャンパス5回、リモート説明会2回、各高校主催の進学相談会への参加、個別の学校訪問などにより、本校受験の契機となるよう努めた。3月にもオープンキャンパス等を予定している。
- ⑥ 資格取得等の情報は学校案内や募集要項に記載するとともに、オープンキャンパスを初めとする募集活動において情報提供している。
- ⑦ 高校の進路指導の時期等を勘案する中で、実施可能な回数を設定している。

(8) 法令等の遵守

項目	結果
① 関係法令、専修学校設置基準等が遵守されている	3.8
② 個人情報の保護に関する教職員の理解が徹底されている	3.8
③ 自己評価を実施し結果を公表している	3.9
④ 外部関係者による学校評価を実施している	3.9

【評価内容】

- ① 関係法令、専修学校設置基準等を遵守し学校運営を行っている。
- ② 個人情報保護に関する法令等を教職員へ周知し、遵守し対応している。
- ③ 自己評価を実施し結果をホームページで公表している。
- ④ 外部関係者による学校関係者評価を実施している。

(9) 社会貢献・地域貢献

評価項目	結果
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っている	3.4
② 地域と連携して学校の立地条件を活用した取り組みを行っている	3.5
③ 交流スペースは積極的に活用されている	3.4
④ 学生のボランティア活動を奨励している	3.0

【評価内容】

- ① 韃祭りや宝美祭への地域商店街代表、地元百貨店の代表、山梨中央銀行の代表、ジュエリー協会・水晶美術彫刻組合の代表、甲府商工会議所などからの参加などがあつた。
- ② 山梨中央銀行本店北側の展示スペースに展示をするなどの取り組みを行っている。
- ③ 高校の学校見学の際に活用するとともに、個別に見学を希望される方に交流スペースを解放している。
- ④ 募集案内を掲示するとともに、授業内でもボランティア活動への参加が企業へのアピールにつながることを伝え、取組を奨励している。また、ボランティア活動による欠席については公欠として扱うなど、活動しやすい環境づくりにも努めている。